

会 議 録

会議名	令和3年度 第7回 大野北地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 大野北まちづくりセンター 電話 042-861-4512		
開催日時	令和4年3月22日(火) 18時30分~20時00分		
開催場所	大野北公民館 大会議室		
出席者	委員	22人 (別紙のとおり)	
	その他	9人	都市計画課 課長 都市計画課1人 公園課 課長 公園課2人 生涯学習課 課長 生涯学習課2人 公民館館長代理
	事務局	2人	大野北まちづくりセンター所長、まちづくりセンター1人
公開の可否	可	不可	一部不可
			傍聴者数
			1人
公開不可・一部公開不可の場合は、その理由			
会議次第	<p>1 あいさつ</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会について</p> <p>(2) 地区課題の選定結果について(資料1)</p> <p>3 出席委員からの情報提供</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 次回日程について</p> <p>5 閉 会</p>		

1 あいさつ

山口会長よりあいさつ
(以後進行は山口会長)

2 議 題

(1) 次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会について

はじめに、資料をもとに市からこれまでの検討経過を説明し、事前に受付けた質問へ次のとおり回答した。

・結論を出す検討期間については、令和4年度末に基本計画を策定する。

・耐用年数の考え方については、維持管理の状況などにもよるが、60年を目標としていた。「相模原市一般公共建築物長寿命化計画」において、築年数が40年未満の施設は計画的に改修工事を行い、目標使用年数を80年とした。

大野北公民館をはじめ、築年数が40年以上の施設は「集約や複合化を含めた施設のあり方、方向性の検討後に施設の再編、再整備に取り組む」こととされました。

このため、60年の耐用年数を待たずに、基本計画策定後には整備を進めていきたい。

<主な意見>

○委員からの発言 市からの発言

大野北公民館を前提に事前質問を出したが、図書館や青少年学習センターについても同様と考えてよいか。

同様です。

令和4年度末を目途に基本計画を策定し、そこから約6年かかるとのこと、やむを得ないことであると思う。スタートすれば先が見えてくるので、いつまで待てばよいのかということにはならないと思う。

第15回まで市民検討会をやったということ、引き続き市民検討会を開催して令和4年度末までに基本計画の策定に向けた検討をされるとのこと。これだけ検討会をやられていて良いことだとは思いますが、最終的な結論はだれが出すのか。市民検討会が決定するのか、市が決定するのでしょうか。

計画策定にあたり、市民検討会をはじめ、広く市民の皆さんの意見を聴きながら、検討を進めていきます。例えば、図書館協議会、公民館運営協議会などの意見も必要であるし、そのような組織に属していない一般市民の方にも意見をお聴きしながら、基本計画案の検討を進め、最終的には市で決定し議会等にも報告していくこととなります。

市民検討会で検討するのも結構だが、最終的に行政で決めるのが苦しくなるのではないか。市民検討会で色々な案が出されれば、白黒ははっきりさせなければならないことも出てくるので、そのあたりの判断は注意して進めていただきたい。

基本計画は最終的には市で決定することになりますが、それに向けて、市民検討会の皆様に、淵野辺駅南口周辺のまちづくりに関する想いやアイデアをいただいております。行政も市民検討会の皆様と一緒に検討を進めてまいります。

これからグループワークが行われ、その中では、市民検討会の皆様から様々なアイデアやご意見が出ると思われまます。我々も実現性があるものなのか、行政の職員も一緒に意見を出し合いながら、検討を進めていきたいと考えております。

複数の検討パターンから絞り込みを行い、鹿沼公園と図書館敷地を一体的に利用するというまとめができたところですが、その途中の段階でも、財政的な部分に関する情報がないと判断できないという意見をいただいたことから、市から資料をお示しして検討をしていただきました。事業費のことなどを全く考えずに検討いただくということではなく、市民検討会の皆様からどのような情報が必要かも伺いながら、今後も市民検討会を進めていきたいと考えております。市民検討会における検討がより一層充実するよう、行政としても支援してまいります。

○三課それぞれの想いと、状況をお聞きしたい。

(都市計画課)

まちづくり会議の皆様から提言をいただいてから、すでに10年以上が経過してしまいました。市民検討会をやってきて感じたことは、淵野辺のまちを良くしたい、次世代に引き継いでいきたいという想いは、皆さん一致しているということです。

人それぞれ考えている方向性は異なる部分もありますが、公共施設の再編をきっかけとして、より良くしていきたい、スピード感を持ってやっていきたいという想いは我々も同じです。

(生涯学習課)

市民検討会の皆さんの取組を踏まえながら進めてまいります。また、地域の方の中には、いつまで検討しているのかという想いがあることも承知しており、市民検討会における検討がしっかりと進むよう、引き続き支援してまいります。

生涯学習課は、大野北公民館、図書館、青少年学習センターをはじめとした公共施設に関する検討を主に担当しております。検討対象施設が多く、取りまとめが大変な部分もあります。遠慮なく、色々なご意見をいただきたいと思います。我々もそういったアイデアをいただくと大変助かります。

(公園課)

鹿沼公園は市内のなかで古い公園であり、公園施設の老朽化、樹木の老木化も進んでいます。複合施設の整備と合わせて公園も再整備ができるということは、我々にとっても大きなチャンスとして捉えております。

ただし、全く違う公園になるということではなく、現在の鹿沼公園が持つ魅力、地域の方から求められている機能については、担保していきたいと考えております。

今後の市民検討会では、公園WGにおいて、色々のご議論をいただくこととなりますが、公園の持つポテンシャルにこだわりながら、地域にとって魅力ある公園づくりを進めてまいります。

今までもまちづくり会議の場で、鹿沼公園を含めた淵野辺駅南口周辺の再整備について、意見を述べてきた。検討が長引けば長引くほど、市民の分断も懸念され、地域での人間関係が損なわれるようなことがあると、委縮して発言しにくくなってしまふ。

いずれの検討パターンになるにせよ、バラ色の財源や打ち出の小槌はないということ、もう少しはっきりと言っていただく必要があるのではないか。

PFIの手法を取られるとは思いますが、そのパートナー企業としてどのような目途が立っているのかなど、具体策を示していただければ、検討案に対して納得できるのではないかと思う。私も鹿沼公園には思い入れがあるが、感情論だけではなく、市の財

政が危機的な状況にあり、PFI等で一般企業からの財源を入れながらの開発でないとできないということ、そろそろはっきりとしていただいても良いのではないかと。そのうえで、市でまとめて議会に諮っていただければ、我々も持続可能な相模原市のためにも納得ができると思う。伝えるべきことをPRしていただくと、安心してまちづくり会議で発言をすることができ、また、発言したことにも責任が持てる。ぜひその点はよろしく願いたい。

公園の芝生については、みんなで使えるようにしてほしい。市民検討会でも議論されていると思うが、子どもが中に入って遊べれば、とても楽しいだろう。一部の人たちに専用利用させるのではなく、みんなで使えるようにしていただけるとありがたい。

軟式野球場は天然芝であるので、グラウンドとして冬季は養生のため使用できません。平日の利用頻度もかなり低く、今後はさらなる有効活用や機能の充実が望まれていると認識しております。軟式野球場だけでなく、公園施設の在り方については、何を残すべきか、何をなくしてもよいのか、拡充が必要なものは何かなどについて、市民検討会での議論をお願いします。芝生の活用については、市民検討会でも意見が出されると思われます。皆さんに自由に考えていただきながら、方向性を定めてまいりたいと考えております。

先日、息子が児童交通公園で自転車を借りて利用した。誰か指導者がいたかと聞いたところ、いなかったようだ。信号などのルールも守らなかったとのことであった。私が子どもの頃は、そのような利用の仕方をする、公園内の放送で、注意をされたが、今はそのようなことはないようだ。今後、公園リニューアルの具体的な検討が行われると承知しているが、そういった交通安全の指導についても、警察と連携するなど、工夫をしていただきたい。

鹿沼公園は、指定管理者制度を活用して運営しておりますが、ハード面だけではなく、ソフト面からも、今ある公園施設をどのように活用していくのか、今後の検討事項になると思っております。今後どのような運営の仕方になるかは現時点では分かりませんが、どのように活用していくかも視野に入れながら、検討を進めてまいります。

前から言っているが、交通公園は名前だけではないか。遠方から喜んで子供を連れてきているので、交通公園を潰すのは反対だという方がいた。他にはない施設なので、わざわざ遠方から来ているとのことだったが、本当にあれが交通公園と言えるのか疑問だ。そうであるならば、この検討をする前に、市にも見ていただきたい。特に大野北地区は自転車事故が多い。子どもに自転車の乗り方も指導すべきではないか。児童交通公園には小さな信号機みたいなものもあるが、それらを活用して、子どもたちにしっかりと交通事故を防ぐような指導をすべきではないか。現状は、職員が自転車等の貸し出しを行うだけで、それだけでは寂しい。交通指導などをしても良いのではないかと。

公園については、市長の前でも「白鳥池を見てください」と言った。白鳥池は浅瀬となっており、鯉は背びれを出して泳いでいる。言い換えれば動物虐待である。そのようなところも公園課でしっかりと見て、対応していただきたい。あんな浅瀬では、稚魚はカラスに食べられてしまう。カメは浅瀬でも平気。甲羅干しをしている。そういうところまでをちゃんと見ているのか。この事業をやる前に、やるべきことはあるのではないかと考えている。

先ほどの説明でも、「市民との対話で良いものを作っていく」ということであったが、本当に対話、対話でできるのか。市からの説明があったが、美辞麗句ばかり並んでいる。聞いていれば素晴らしいのだが、市民の様々な意見を聴いて、色々なアイデアももらって、それをまとめていくことで、良い図書館や公民館ができるのか。10年後にできるのか。私は厳しいのではないかと。ある程度は市の方で主導していか

ければならないのではないか。最初の質問でもあったが、ある程度の目途をつけた中でやっていかなければできっこない。他の市でも、素晴らしい図書館をつくっている。他の自治体でも色々な公共施設をつくっているが、こんなに市民全体の話の聴いてつくりましたというようなところはあるのか。私は聞いたことがない。

ある程度は市が主導して、その中で、ここは市民の皆さんの意見を聴きたいということを示して意見を聴いていくのなら分かる。全体的なところから話し合おうということでは、まとまらないではないか。お金もないのに、市民の意見を聴いて、一体どうやって進めていくのか。先ほどから具体的にという説明があったが、10年後なんていう形で話を進めていってできるのか。もう少し市で考え方を主導すべき部分は主導して欲しい。あまりにも対話・対話でやっていくのはおかしいと思う。これから市民検討会で議論をしていくことになると思うが、そのようなことも考えて進めていただきたい。

市が市民の意見を聴くことにより、団体の場合は異なる意見の人達のしがらみの真ん中に立たされるといった余波があったと思う。

市の立場も個々にあり、それが仕事として全うしていることに対して何か言う立場ではないが、落としどころはどこなのかと考えていた。

委員の皆さんもそれぞれの立場の中で、なんとなくまとまらないから発言できない部分もあるのではないかと考えております。

○公園の問題と公共施設をどのように公園の中に取り入れるかという問題のようだが、もっと広い視点で意見を聴いた方が良いのではないか。駅前広場や、図書館、公民館をはじめとした公共施設などについて、総合的にどういう考えを持っているのか、こういう案があるということ、市民に示してから意見を聴くようなやり方が必要ではないか。どうでしょう、どうでしょうばかりでは、話は出てこないのではないか。

もう少し具体的な案を出して、それに対して市民がアイデアを出し合うという進めの方が良いのではないかとと思う。

私は市民検討会の委員としても参加している。

次回の市民検討会は、3月27日に予定されており、メンバーの入れ替え等もあり、再スタートする。15回までである程度の方向性をまとめたということで、これから具体的な検討になるが、メンバー全員が専門的な知識を持っているわけではない。複合施設ということで、建ぺい率などの問題、公園の制度なども色々と思うが、市民だけで検討しても、中には法律的に無理だというようなことも出てくる。もっと市や学識経験者の方が、各グループを回るだけでなく、グループの中に入って、はっきり道を示していただければ議論はしやすいと思う。喧々諤々議論をするのは、15回までで十分である。これからも同じようなことをやっている、いつまでたっても話はまとまらない。予算的な話については市民検討会の中でも話をしており、市からも情報をいただきながら、どのあたりが落としどころなのかと探っているところである。

最初のころに比べると、市と学識経験者と市民検討会委員が、和やかに腹を割って話せるような状況になっている。本日のまちづくり会議で出たような意見、質問等も市民検討会で共有し、検討をしていきたいと考えている。

○今年の春から、子どもが淵野辺駅から電車に乗って通学ようになる。駅前の駐輪場を利用することになるが、淵野辺駅南口周辺のまちづくりの検討の中に、駐輪場の再整備も含まれていたと承知しているが、どうなっているのか。

駐輪場も市民検討会の中の一つのテーマとして検討しております。今のところ市民検討会の中で駐輪場は利便性等を考えると、駅に近い場所にあった方が良いという意見です。

消防団のメンバーとして、仕事をしながら、自分の住んでいる町を守る活動をしている。先ほどから皆さんの意見を聴いている中では、中々先が見えてこないというのが現状のようだ。例えば検討の期日を決めて行うとか、難しい部分はあると思うが、具体化するところを明確に出していただきたい。

市民検討会のメンバーも変わると思うが、メンバーが変わってしまうと、今までやってきたことが消えてしまうことも出てくるのではないかと。消防団でも伝統的なところや、先輩方がやってきたことを継承して活動している。せっかく市民検討会という集まりがあるので、無駄にするのではなく、具体化に向けて進んでいただきたい。

この場合は、まちづくりという観点で検討をしていると思うが、学校では人づくりの努力を日々行っている。

令和4年度末に基本計画ができて、そこから6年くらいかかるとのことだが、今、学校現場でも、社会がすごいスピードで変化していて、5年後、10年後がどういう社会になっているのか、それをきちんと考えたうえで、子どもたちに必要なことをやっていこうと話している。

相模原市として、10年後の相模原市がどのようになっているとイメージを持っているのか。おそらく少子高齢化がかなり進み、税収も減る中で、どのようなまちになっているのか。そこから逆算して、今何をすべきかを考える必要があるのではないかと。市は、10年後の相模原市をどのようにイメージし、まちづくりを考えているのか伺いたい。

良い建物を作っても、そこに住む人がどんな人かで、まちは大きく変わると思う。まちづくりは、人づくりであると思っている。そういったことも踏まえた中で、これからどういうまちにしていこうとしているのか。

市役所の中も人事異動があり、6年後もいる担当の方はほぼいないのではないかと。担当者が変わると、想いがずれることもあるのではないかと。社会の変化も早くなることにも気を付けて進めていく必要があるのではないかと。

相模原市は今後財政的にもっと厳しくなるのではないかと。教育の予算も10%シリングがかけられたという話も聞いている。相模原市として何を柱としてまちづくりをしていくのか、各課で色々な考え方があると思う。それら全てを叶えられる予算はないのではないかと。限られた税収の中でどういうまちづくりをしていくのかを明確にして議論をしていかないと、絵に描いた餅で終わってしまうのではないかとと思われる。

市全体の話になりますが、都市計画マスタープランは20年後を見据えた10年後のまちづくりをイメージして、令和2年3月に策定しております。人口減少を見据えた中で、集約連携型のまちを掲げております。制限を課すわけではありませんが、ある程度まとまって住んでいただき、人と人とのつながりを大事にしながら、拠点間は公共交通でつなぐまちづくりを目指しております。

淵野辺は、橋本、相模原、相模大野といった大きな拠点に次ぐ地域拠点と位置付けております。拠点にお店など生活に必要な施設が集まり、拠点間を電車やバスといった公共交通機関で結び、多様な住み方ができるまちという大きなイメージがあります。

人づくりという点では、個々の地域特性を生かしたまちづくりを、地域の方々と連携しながら進めてまいります。

公民館等を所管しています。

ひとづくり、地域づくりが必要だと思っております。少子高齢化、新型コロナウイルス、自然災害などにより、今まで大丈夫だったこと、当たり前だったことが、そうではなくなるのが今後の日本になります。全てを行政でカバーできるのかと言えば、難しい部分があります。行政の限界がある中では、地域の方の絆、ひとづくりが重要だと考えます。

公民館では、地域課題を解決するためのひとづくり、場づくりを進めなければなりません。今回の淵野辺の検討も、そのような拠点になるとよいと考えております。

10年後、20年後にそういったものを目指すことが必要だと考えております。

相模原市では総合計画を定めておりますが、総合計画推進プログラムを策定する中で、計画の基幹事業というものを選定し、これまでは3年～5年というスパンで見直しをしてきましたが、これからは毎年見直しをしながら進めていこうとしております。

日本の社会・経済の状況が日々目まぐるしく変わっていく中で、単年度ごとに見直しを行うという方針です。毎年見直しを行いながら、今必要なものは何か、今後に資するものは何かという視点で事業に取り組んでいくということが、市全体の考え方となっております。

こういうプロジェクトを進めるにあたり、市は財政が厳しいというが、企画の仕方によっては、国からの補助金等も活用できるのではないかと。

大野北地区には素晴らしい大学があり、子どもたちもこうやって育てていく、そのためには、単なる図書館ではなく、こういうアイデアのある図書館なのだから、半分くらいは国から支援してもらおうとか、そうやってお金をもらってくることはできないか。政令指定都市なのだから、国と直接交渉をしても良いのではないかと。

駅を降りてから、駐輪場、駐車場、図書館まで、ずっと市の敷地がこんなにある事例は、他にはないのではないかと。もっと素晴らしい考えを持って取り組んだ方が良いのではないかと。市の小さいところで細々と検討するのではなく、発想を転換して考えれば、国から支援を受けられるのではないかと。他の市町村だって、そういうやり方をしているのではないかと。

海老名市や、大和市、藤沢市などで様々な事業が行われているが、相模原市は、そういった事業が行われていない。橋本はリニアのトンネルを掘っているだけで、上の方は何もやっていないのではないかと。何も考えていないのではないかと。それが政令市か。もう少し発想を転換していただきたい。

お金がないで終わりではなく、今まで以上に勉強していただきたい。政令市になると、なぜ国からお金をもらってこれないのか、不思議で仕方がない。もっと飛躍して、発想を転換していただきたい。

駅を降りて、こんなに優雅なところは他になく、何一つ変えないでくれという方もいる。一人一人市民の話を聞いていたら、このままで良いという人もいる。そういう人たちの話を聞いてどうするのか。何もやらないで済むのか。もう少し将来のことも考えながら、検討を進めて欲しい。

(2) 地区課題の選定結果について(資料1)

事務局より、まちづくり会議役員会の総意として、地区課題はB班の「世代間交流で地域が活性化している状態～新たな世代間交流を季節ごとに開催する～」に決定したと、今後の進め方について、資料1をもとに説明した。

交通安全を課題としたグループのまとめ誌は、区役所、本庁の関係機関に、全市的な取り組みの参考として、役立ててもらうために情報提供することとした。

また、基礎データを収集するなかで大野北地区の特性は、今後人口増加が予想され、減少に転じても減少幅が市内で一番緩やかであると評価されていること、中央区で交通事故がもっとも多い時期は11月と12月、時間帯は午前8時と午後5時であることがデータから読み取れたことを報告した。

3 出席委員からの情報提供

〇にこにこ星ふちのべ商店会で、3月27日(日)に午前10時から午後5時まで、淵野辺駅北口デッキ下にて、撮影ブースを設けて写真を撮って、その場で缶バッジをプレゼントします。お子さんと保護者、お友達同士などでお越しいただきたい。

また、終活に役立ててもらう一貫として、写真供養を行います。集めた写真は後日、お寺でお焚き上げしてもらいます。

幅広い世代に楽しんでもらえるイベントなので、是非お越しいただきたい。

同時に、手作りマルシェフェスティバルも開催します。

イベントの周知はタウンニュースへの掲載、近隣の幼稚園・保育園等にビラを配布して行いました。

4 その他

次回日程について

今回は、令和4年5月24日(火)午後6時30分から開催予定である旨を事務局から報告した。

5 閉会

脇山副会長が閉会

以上

令和3年度 大野北地区まちづくり会議委員出席者名簿

	氏名	所属団体等の名称	出欠席
1	山口 信郎	大野北地区自治会連合会	出
		大野北地区社会福祉協議会	
2	飯田 秀雄	大野北地区自治会連合会	出
3	林 知治	大野北地区自治会連合会	出
4	脇山 寿満子	大野北地区民生委員児童委員協議会	出
5	小野澤 行雄	大野北地区社会福祉協議会	出
6	小川 紳夫	大野北公民館	出
7	田加井 政男	交通安全協会	出
8	萩原 ますみ	大野北地区交通安全母の会	出
9	岡 純正	大野北地区老人クラブ連合会	出
10	安藤 貴光	相模原市消防団中央方面隊第三分団	出
11	竹内 重男	さがみはら国際交流ラウンジ運営機構	欠
12	小方 明	大野北青少年健全育成協議会	欠
13	高橋 美保	青少年指導委員大野北地区協議会	出
14	村田 明夫	スポーツ推進委員大野北地区協議会	出
15	霧生 貴紀	小学校	欠
16	平野 知彦	中学校	出
17	児玉 理恵	小・中学校PTA	出
18	三條 久美子	青山学院大学	出
19	山岸 優之	桜美林学園	出
20	白石 一郎	麻布大学	欠
21	神谷 恵子	福祉グループ「輪」	出
22	伊藤 憲秀	大野北第1地域包括支援センター	出
23	加瀬 剛広	大野北第2地域包括支援センター	出
24	萩生田 康治	にこにこ星ふちのべ商店会	出
25	櫻内 康裕	淵野辺駅南口商栄会	出
26	玉城 洋	相模原市農業協同組合淵野辺支店	出

令和3年度 第7回大野北地区まちづくり会議

日 時 令和4年3月22日(火)
午後6時30分から
場 所 大野北公民館 1階 大会議室

次 第

1 あいさつ

2 議 題

(1) 次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会について

(2) 地区課題の選定結果について(資料1)

3 出席委員からの情報提供

4 その他

新年度日程について

日 時 令和4年5月24日(火) 午後6時30分から
場 所 大野北公民館 大会議室

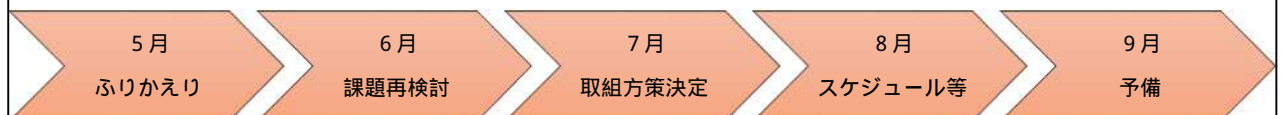
以 上

グループワークによる地区課題抽出の今後の進め方について

選定された地区課題については、大野北地区の地区課題として令和4年度のまちづくり懇談会(まちづくり会議委員と市関係部局職員との懇談会で、例年は10月頃に開催)のテーマの一つとできるように検討を進めていきます。

来年度のまちづくり会議では、選定されたグループのまとめ誌を基礎として、抽出された課題(問題を解決するために実行すること)の内容を再検討した上で、「誰が、いつまでに、何をするか」という具体的な取組方法やスケジュールを考え、費用対効果を踏まえながら、まちづくり懇談会のテーマとできるかを検討していきます。

《令和4年度の予定》





市民検討会で考えた複数の検討パターンについて、優先順位を決め、今期市民検討会のまとめを行いました！

Vol.15

「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会」について、第14回を11月20日（土）に、第15回を12月12日（日）に開催しました。

第14回及び第15回市民検討会を開催しました！

第14回市民検討会では、事前に市民検討会委員が検討パターンに関して評価した結果を確認した（※）後に、検討パターンの優先順位付けをするため、3つのWG（まちづくり・公共施設・公園）に分かれ、グループワークを行いました。

これまでの検討を踏まえ、一定のまとめができて、次期の委員へつないでいけるね！

今期最後となる第15回市民検討会では、今期市民検討会のまとめについて検討し、次期市民検討会委員へ伝えたいことを共有しました。

（第15回の内容の記事は裏面です。）

今後は、今期市民検討会でまとまった意見等を踏まえて、市で課題等を検証し、次期市民検討会では施設・公園・土地活用の具体的な検討を行う予定です。



※評価の視点の詳細は、次世代ふちのベニューズ第14号をご参照ください。

検討パターンを評価した結果の傾向はどうだったの？

全体的な傾向としては、「複合化しないパターンより、複合化するパターンの方が、評価が高い傾向」にありました。また、「複合化するパターンの中では、公園敷地を活用するパターンと、公園と隣接する図書館敷地を一体的に活用するパターンの評価が高い傾向」にありました。

グループワークでどんな意見が出たの？

「鹿沼公園中心パターンと図書館敷地中心パターンの折衷案」が最も優先順位が高く、次が「公園中心パターン」という方向性が出されました。

公園WG

①折衷案

- ・「公園中心パターン」に関する評価として、評価が集まっている項目は、「財源の確保」と考えた。
- ・「折衷案」を選ぶポイントとして、「財源の確保」以外に以下の3点が重要と考えた。
- ①誰でも利用しやすい②自然環境に配慮した機能への対応③空間、場所を意識させる機能への対応

公共施設WG

①折衷案 ②公園中心パターン

- ・各検討パターンのメリット、デメリットを具体的に考え、3つの検討パターンに絞り込まれた。そのうち、「図書館敷地中心パターン」は、サービスの継続といった点で課題があり、候補から除外した。
- ・「公園中心パターン」のメリットとして、①サービスの継続 ②財源の確保が挙げられた。
- ・公園への影響を抑えられる「折衷案」の方が、どちらかと言うと優先度が高い結果となった。

まちづくりWG

①折衷案 ②公園中心パターン

- ・なるべく既存の公園の機能を減少させないという考えの下、「折衷案」が最も優先度が高い結果となった。
- ・公園中心パターンについても、公園を減少させないという考えを持つのであれば、容認できるものと考えた。
- ・折衷案で、複合施設を現在の図書館敷地の中に設置するのか、現在の公園敷地の中に設置するのかまでは、まとまらなかった。

今期市民検討会のまとめについて検討しました！

これまで検討してきた内容を踏まえ、3つの班に分かれて今期市民検討会のまとめについて検討を行い、全体で確認しました。

○まとめ「鹿沼公園と図書館敷地を一体的に利用し、再整備を行う。」

〈グループワークで出た主な意見〉

- ・鹿沼公園と図書館敷地の一体案を推したい。
- ・これまで6つの検討パターンを検討した中で、まとまったということを引き継ぎたい。
- ・細かい検討（施設の配置等）が出来ていないので、次期市民検討委員に具体的な検討をお願いしたい。
- ・これまで検討してきた内容を引き継ぎ、振り出しに戻らないようにしていただき、また、より良いものにするという想いをもって検討をお願いしたい。



次期市民検討会委員へ伝えたいことは？

細かく6つのグループに分かれ、次期市民検討会委員へ伝えたいことを自由に話し合いました。

定めた目標に向けて最速最短で進めてください。

次期検討会では1つ1つの事がきちんと説明できる内容づくりを目指してほしい。

淵野辺南口の魅力・ブランドは、駅の近くにある広い公園及び公共施設がそろっていることだと思うので、これらを毀損することなく利便性を高め、さらに、利用する人たちの想いを実現してほしい。

双方向性の議論がなされ、より良い案となるよう、心から願っています。

少子高齢化社会で、子どもと老人が利用しやすい場所・外国人が自然に受け入れられて、共生できる場所を考えてほしい。

地域住民の憩いの場、集いの場、サードプレイスとして考えられる場所となってほしい。

たくさんの想いや願いがある中で優先順位を考えながら、バランスと調和のとれた街づくりができるといいですね。

次世代にどういった淵野辺駅南口を届けたいのか？をいつも念頭に考えてほしい。

有識者協議会の先生方から講評をいただきました。

- ◆ 淵野辺は交流人口が多く、人を集めることができる公共施設があり、それらを中心としたまちづくりをすることができる。次期市民検討会では、そういった明るい要素を踏まえながら検討を進めて欲しい。
- ◆ 誰がその場所を使い、誰がそこで活動をしているのかと、主語を考えることが、今後の検討会の中心的な話題になると思われる。また、そのような考え方が今後引き継がれていくとよいのではないか。
- ◆ これから、複合施設の中身をどうしていくのか、各施設をより活性化するには、どうしたらよいのか、そのようなことを、次期市民検討会委員には考えて欲しい。また、そのために必要なことは、現市民検討会委員が長いこと検討してきた成果としての今回のまとめである。

「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり」に関する情報は、市ホームページでご覧頂けます。

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/machitsukuri/1015393/index.html>



★次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりに関するお問い合わせ・ご意見は…

【公園について】 環境経済局 環境共生部 公園課（電話：042-769-8243）

【まちづくりについて】 都市建設局 まちづくり推進部 都市計画課（電話：042-769-8247）

【公共施設について】 教育局 生涯学習部 生涯学習課（電話：042-769-8287）

E-mail: jisedai-fuchinobe@city.sagamihara.kanagawa.jp

ぜひホームページ
もご覧ください★